

議 事 録

会議の名称	令和元年度 第2回 愛荘町総合教育会議
開催日時	令和元年度 8月29日（木）午後2時00分
開催場所	秦荘庁舎2階 大会議室
出席者	<p>【構 成 員】7名 町長 有村 国知、副町長 石田 政則、教育長 徳田 寿 教育長職務代理者 森 秀昭、教育委員 松浦 延代 教育委員 中村 由香里 教育委員 八島 琢磨</p> <p>【事 務 局】6名 政策監（総務）上林 市治、政策監（福祉） 岡部得晴、 教育委員会事務局 次長 青木 清司、学校教育担当 課長 田中幹雄 教育委員会事務局 生涯学習課長 本田 康仁 教育委員会事務局 教育振興課主査 久保 泰代</p> <p>【傍 聴 者】2名</p>
議事日程	協議・報告事項 ・「愛荘町教育大綱策定について」
議事録作成者	教育振興課 久保 泰代
審議内容	午後2時00分開会
青木次長	ただいまから令和元年度2回の愛荘町総合教育会議を開催いたします。はじめに有村町長からご挨拶をお願いいたします。
有村町長	皆様こんにちは。第2回総合教育会議よろしく申し上げます。
青木次長	<p>ありがとうございました。それでは会議に移りたいと思います。会議の運営につきましては、愛荘町総合教育会議設置要綱に基づき進めさせていただきます。</p> <p>早速ではございますが、設置要綱第4条規定により町長が議長になることから、会議の進行を有村町長をお願いいたします。よろしく申し上げます。</p>
議長（有村町長）	<p>では設置要綱に基づきまして、議長を務めさせていただきたいと思っておりますのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>次第の1議題の協議事項、「愛荘町教育大綱策定について」を議題といたします。</p> <p>私と教育委員の皆さんと意見交換をしたいと思いますのでよろしくお</p>

<p>青木次長</p>	<p>願います。 事務局より説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">—事務局より説明—</p>
<p>議長（有村町長）</p>	<p>ありがとうございます。では私の方から子どもたちに求めたいこと、またこんな大人になってほしいと思うことを2つ、報告させていただきたいと思えます。</p> <p>大きなものの1点目が、公益に資する生き方をよしとする（称える）感性や視点を持ってほしいです。</p> <p>2点目は生き物としてのスイッチを入れる。ということです。町長の立場につかせていただいて子どもたちや町内の多くの方々いろんな人生や家庭・世帯・組織などを近くで拝見したり、話を聞かせていただいたりすると、役場だけでは対応できる部分は限られているので、課題意識、問題意識があると思えますが、これからの社会を担っていく子どもには常に自分の働きかけであったり存在がより良い社会を築くことの一助になっているということに幼少期から視点を持ってもらいたいなと思えます。また社会を構成する一員として心身ともに健やかに地域社会の発展に寄与するという生きがいを持ってほしいなと思えます。具体的なことで申し上げますと、人に迷惑をかけないとか事故を起こさない、事故に合わない、健康でいるということが大事で、文化的に自らを高め、まずは自分のできることをしっかりやりながら、自分の力をつけたならほかの人の重荷も背負ってあげられるという社会に寄与する人格を磨いてほしいと、公益に資するという視点を常に持ってほしいと思えます。</p> <p>2つ目の生き物としてのスイッチを入れるということは、自分の命は自分で守りきるという覚悟を持つということです。あくまでも自分の人生の責任者は自分だということを小さいころから意識のいちばん深いところにおいてほしいと思えます。</p> <p>衣食住が比較的容易になり命が続いていることに感謝することが減っていると思えますので、この奇跡のような命を絶対に守り、誰からも傷つけられるような対象ではない、また自分の人生をしっかり切り開いていくのも自分であるというところを据えていただきながら、これを共通の価値としながら、それぞれの多様性を認めあい、強さというのを養ってほしいなと思えます。</p> <p>大綱の話に戻りますと、これから就職したり、組織に入ったりした時に信頼を重ねたり、自分が入る組織というのは自分がいなくてもまわっているものなのですが、その中でもなお自分の存在価値を高める、自分の居場所を作るというためにはその組織への貢献ということが必要です。これは</p>

	<p>自分の命をつなぐ時代に自分の命をつなげていけるかどうかということがあるので生き物としての能力、社会人としての力を磨いて、社会で自分の居場所というのを築いていってほしいということで、自分の命を絶対に守りきる、またその責任者は自分であるということをごえられたらと思います。この2点が、行政の長を預かるものとして強く感じております。</p> <p>以上です。もちろん、教育の分野で、申し上げますと、グローバルな社会やAIの時代にどのようにして行くとか、ICTの教育分野の導など様々あると思いますが、人間としてその2つが今課題として持っているところでございます。以上、貴重なお時間をいただきご報告させていただきありがとうございます。</p>
八島委員	<p>この教育大綱で、10年後の町の姿で「愛着と誇り。人とまちが共に輝く、みらい創生のまち」というのを姿としてあげていただいているのですが、これを町民の方にもう少し短い言葉でわかりやすいスローガンを考えていただいて、それが定着するような文言で考えていただきたいと思います。</p> <p>また人生100年ということで生涯学習があがっておりますが、100年の中でそれぞれ年代がありますので、年代別にこういうレベルまでいってくださいということがすぐに見て分かるようにして、それに合うようなセミナーをしていますというようなことを明示されれば町民もこの教育大綱についてきていただけるのではないかと思います。そういうことをまとめていくとよいと思います。</p>
議長（有村町長）	<p>ありがとうございます。</p>
森委員	<p>今、八島さんが言われたようにスローガン・合言葉というのは大事だと思います。青少年の育成という立場からいいますと、そこまでに到達していくまでの年代層、そこから超えていく年代層、その部分で私はちょうど関わらせてもらっている部分があるのでよく思うのですが、子どもたちがそこまでいくまでに自分に目標あるいは、生きる力をつくりながらやってきたのか、それが親読書であるとか生きる力、読み解く力、これが全部関わってくると思います。それがつながった時、町長が言われたような自分の命は自分で守る、つまり自分の人生は責任を持つというのはそこへベースとして上に乗ってくるものと考えます。それがまさに、生きる力・生き抜く力だと思います。そういう事をやってきた人は、ある高齢になっても元気な方が非常に多いと思います。</p> <p>職場から見ると、暑い日も寒い日もグランドゴルフ場でグランドゴルフをやっておられる。そういうのも、お互い一人でやっているのではなく、</p>

	<p>出て行って連れ合っ一緒にやっておられる。そういう方もうまく入ってこられるような形が町民の方々に何かないのかなと思っています。資料に書いていただいている 100 年を見とおしたころざしから夢・ころざし・生きる力とは、自分を高めるには夢とかころざしがなくなったら難しいと思います。そのため取っ掛かりが非常に大事になると思います。その辺をいろいろとご意見いただきたいと思います。</p>
議長（有村町長）	<p>ありがとうございます。確かにスローガンは大事です。</p>
松浦委員	<p>スローガンをわかりやすく、短くとか、年代層に応じた目的とか、そういう事を掲げるとするのは非常にいいと思います。ちょっと脱線するかもしれませんが、いかに広報して 50 代 60 代 70 代そういう方々に自分のこととして捉えていただけるようにお知らせすることが必要だと思います。よく、「広報あいしょう」とかありますが、なかなかしっかりと読みません。今回大綱を設けていただいて、より身近なことを書いていただくのはいいのですが、その人のものになるようにいかに広報していくのを考えていただきたいなと思います。</p>
議長（有村町長）	<p>ありがとうございます。広報のありかたも常に課題です。その視点を入れながら考えていければと思います。</p>
中村委員	<p>大綱はとても理想的と思います。でも実際一人一人きちんと読んで、出来るかなと思うと実際難しいかなと思います。自分の子どもを見ているのと、こうなってほしい姿とか、部活頑張りなさい、勉強頑張りなさい、ご飯いっぱい食べなさいとか、こうなってほしいことが山ほどあるのですが、子ども自身も全部は出来なくて、本当に大事なことは親もわかりませんが、子ども自身も目の前のことしか見えていない感じです。そのためその間に入っていただける行政や先生がわかりやすくかみくだいて伝えていただき、それを子どもも親も一緒になって出来るような形がうまいこと伝わるといいのかなと思います。</p>
議長（有村町長）	<p>確かに、期待することは山ほどあります。特に現役でお仕事されている方はお仕事で忙しいですし、また地域のことでも忙しい方もいらっしゃいます。また、学習、生涯学習にどれぐらいエネルギーを注げるかは、問題意識持っておられる方は、どんどん取り組んでいただけますが、そうでない方もいます。そのあたりをどう大綱にいれ込んで、広報のあり方、発信のしかたを工夫しないといけないと思います。</p>

副町長	<p>今回作っていただいた案が、従来行政がまとめる理念なり方針なり目標という構成になっていますが、子どもたち、保護者さんにも伝わるような望ましい姿などをもう少し整理して柔らかい表現で伝えようという視点でまとめていく必要があると思います。あと行政マンとしては、これに基づいて進めていくこととなりますので、5ページの目標のところを、もう少し具体的な施策を追加して具体的にどんな取り組みをやるのか、みなさまの意見を踏まえて、なにを重点的に取り組むのかしっかり盛り込んでいく必要があると思います。</p>
議長（有村町長）	<p>私が、今この会場に、来させていただく前に、大変嬉しい光景がありました。大人の方の社会で大変恐縮ですが、当町役場1階で職員の皆さんが、しっかりモニターを見ながら、一人で仕事をするのではなく、皆さんで集いながら、ああでもない、こうでもないとまじめに議論を交わしているシーンをふと見るがありました。目標をもって、それぞれ貢献しながら、目をきらきらさせている大変いい光景であると思いました。</p> <p>先日、トリプルアクセルに挑戦している男の子の映像がニュースでありました。それに対してコーチの方が、「目が、輝いていますね」と言われた。真剣になっている時に目は大きくなるのでより光を集めて輝くそうです。スポーツでは、来年オリンピックもあります。子供たちにも、日本社会全体にも、わくわくすることがあることで人はエネルギーがわいてきます。若い子どもたちにも、スポーツ部分でいうと、大坂なおみ選手や錦織圭さん NBA の八村さんなど、目標になるような生き方、理数系のオリンピックでも、技術系なんでもいいのです。輝いている人の生き方を、見せて、そこからリーバースで戻ってくるというようなことが必要かなと思います。本日委員のみなさまにいただきました視点をしっかり入れながらしっかりと大綱をまとめていければと思います。</p>
青木次長	<p>大綱作成にあたりわかりやすく、やさしく、噛み砕いてということ。また5ページの目標は、先ほどご決定いただいた基本計画の策定委員会で、具体的な施策について議論していただきます。それをまたお示しさせていただきたいと思っております。以上で、愛荘町教育総合会議を、終わらせていただきたいと思っております。最後に教育長おねがいします。</p>
教育長	<p>それでは、閉会にあたりまして、ごあいさつさせていただきます。短い時間ですけれども、非常に大事なスタートラインの議論ありがとうございました。町長の方から2点、教育に対する思いをいただきました。公益に資する生き方をよしとする感性。生き物としてのスイッチを入れる。ということ。この2つについて私は教育には2つ目的があると思っています</p>

が、それと重なっていると思います。1つは教育というのは社会に貢献する人材を育成するということ、そしてもう1つは自身の生き方を豊かにするということ。という意味合いがあるということに偶然にも重なっているなと思います。その両輪をうまく教育大綱の中にちりばめていながら、長い人生を豊かに自身も納得して生き、それが社会の豊かさにつながっていけば素晴らしいことだと思います。私はこの令和の時代に教育長を拝命しましたので、愛荘版の令和の教育改革ということで今後も意識して頑張っていきたいと思っております。またより皆さんにもご理解いただいてそれがそれぞれ皆さんのレベルで具現化していただけるように頑張っていきたいと思っております。本日はありがとうございました。

午後2時30分 閉会